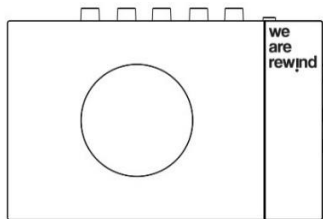


we are rewind

CASSETTE PLAYER AND RECORDER

WE-001 SERIES



USER MANUAL

VERSION: W-JULY-2022

本機を操作する前に、このユーザー マニュアルをお読み下さい。また今後のために保管しておいて下さい。

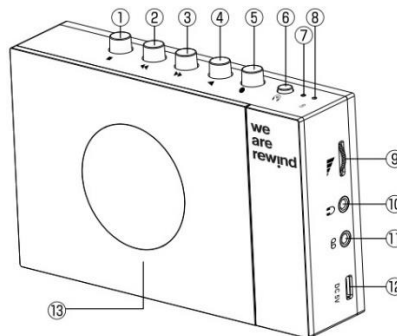
JP-1

安全な使用のために

- 以下の指示を読み、従い、守ってください。
- すべての警告に注意してください。
- 本機を拭く際は柔らかい乾いた布をご使用ください。
- 本機に水滴や水しぶきが付着しないようにしてください。
- 本機を極端な環境（圧力、衝撃、ほこり、砂、湿度、冷氣、熱）にさらさないでください。
- ラジエーター、ストーブ、その他の熱を発生する機器の近くに本機を置いたり、そのような場所で使用しないでください。
- ろうそくなどの裸火源の上に本機を置かないでください。
- 本機を蛍光灯や電気モーター等の干渉源から遠ざけてください。
- 注意 誤って電池を交換すると爆発する危険があります。
- バッテリーや他の部品をユーザーが修理/交換することは出来ません。
- 注意 ヘッドホンやイヤホンを長時間使用すると、ユーザーの聴覚に損傷を与える可能性があります。音量が大きくなり過ぎないように、最初は音量を小さく設定し、歪みなく快適に聞けるようになるまで徐々に音量を上げてください。
- 運転中はヘッドホンやイヤホンを使用しないでください。
- 道路を横断するときや外部の音に注意を払う必要があるときは音量を下げてください。

JP-2

各部の名称



注意: - スピーカーは内蔵していません。

- ヘッドホン接続: 3.5mm ジャック

1	停止ボタン	7	ワイヤレス・ライト
2	早送りボタン	8	電池レベル・ライト
3	巻戻しボタン	9	音量調整つまみ
4	再生ボタン	10	ヘッドホン接続ジャック
5	録音ボタン	11	録音機器接続ジャック
6	ワイヤレス・ヘッドホン・リンク・ボタン	12	5V DC USB接続口
		13	カセット扉

JP-3

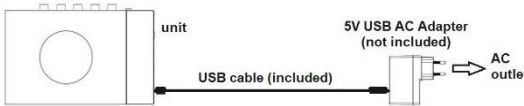
電源と充電

本機は内蔵のリチウムイオン充電電池で動作します。
(公称電圧 - 公称容量: 3.7V - 2000 mAh)

注意: 本機の出荷/配達時は充電されていません。使用する前に充電してください。

内蔵電池の充電

1. 5V USB AC アダプターを使用します。
2. **注意:** 本機には 5V USB AC アダプターは付属していません。本機と 5V USB AC アダプターを付属の USB ケーブルで接続してください。
3. 5V USB AC アダプターを家庭用 AC 電源コンセントに接続してください。



4. 充電時の電池残量によりですが、充電時間は約 4〜5 時間です。
5. 充電中は電池レベル・ライト(#8)が赤く点灯します。
6. 充電が完了すると、電池レベル・ライトが消灯します。
7. 接続を外し、再生や録音することが出来る状態となります。
8. 本機が動作している間は、電池レベル・インディケーターは消灯しています。
9. 電池残量が特定のレベルを下回ると、電池レベル・ライトが赤く点滅し、やがて動作しない状態となります。上記の手順に従って、再度充電してください。

JP-4

電池充電中の本機の使用

- 電池の残量があれば、充電中も本機を使用することが出来ます。
- 充電中に使用すると電力を消費します。そのため通常よりも充電に時間を要することになります。

充電電池を長持ちさせるために

- 電池残量がゼロになる前に充電してください。
- 過充電を避けるため、充電完了後は USB ケーブルを抜いてください。
- 温度が 40 度以上、または 5 度以下の環境での充電は避けてください
- 充電を維持する時間が明らかに減っている場合、充電電池の寿命が近付いています。
- 充電電池を取り外して交換しないでください。

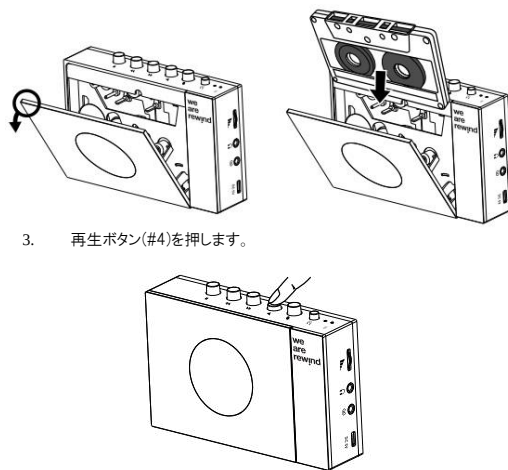
修理/交換に関しては JP-14 を参照ください。

JP-5

使用方法

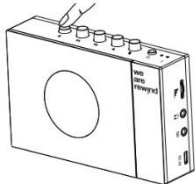
カセットの再生

1. ヘッドホン接続ジャック(#10)にヘッドホンを挿し込みます。ワイヤレス・ヘッドホンを使用することも出来ます。設定方法は 9 ページを参照ください。
2. カセット扉(#13)を開け、再生面を前面に向け、磁気テープが見える方を上に向けてカセットを挿入します。
3. 再生ボタン(#4)を押します。



JP-6

6. テープが最後に到達すると自動的に再生は停止します。また、停止ボタン(#1)を押せば、いつでも動作は停止します。



テープ再生の自動停止

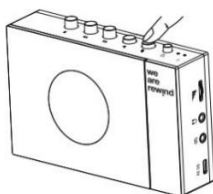
テープを保護し、ピンチ ローラーの不要な摩擦を防ぐために、本機は再生時の自動停止機能を搭載しています。テープの再生が終了すると、再生ボタン (#4) が自動的に上がり、テープが走行しないようになります。

カセットの録音

録音機器接続ジャック(#11)に接続した音源からの録音

1. スマートホンやタブレット等の音源が入っているデバイスを、録音機器接続ジャック(#11)に接続します。
2. 録音用のカセットをカセット扉(#13)に挿入します。
3. 録音ボタン(#5)を押すことにより、接続したデバイスの音源の録音が始まります(デバイスで音源が再生されている必要があります)。
4. 停止ボタン(#1)を押すと録音が終了します。
5. 録音した音を聴くためには、テープを巻戻し(#3)、再生(#4)してください。

JP-7



NOTES:

1. 音量調整つまみ (#9) は、本機内部の自動レベル調整回路により録音音量に影響を与えません。音源ソースから録音する場合は、音源ソースの再生音量を最大にしてください。
2. 外部機器接続ジャック (#11) は、外部音楽ソースから録音するためのものです。
3. 意図しないカセット消去に対する保護: カセットに音声を録音すると、以前の録音は自動的に消去されます。不意の事故を防ぐためにカセットには保護タブ(爪)が付いています。カセットを保護するには、カセットの上部にある保護タブ (爪) を取り外します。ドライバー等を使用して保護タブ(爪)を取り外します。その後、保護されたカセットに再録音する必要がある場合は、露出した穴を粘着テープ等で塞いでください。保護タブ(爪)が取り外され、粘着テープ等で塞がれてない場合、録音ボタン (#5) を押すことはできません。

JP-8



4. カセットの保護タブ(爪)が取り外されている場合は、録音ボタン (#5) を無理に押し下げないでください。機器が損傷します。

ワイヤレス・ヘッドホンの接続

本機とワイヤレス・ヘッドホンのペアリング

お使いのワイヤレス・ヘッドホンが Bluetooth に対応している必要があります。ペアリング・エラーを回避するには、近くにある他のワイヤレス受信デバイス (ワイヤレス・スピーカー、他のワイヤレス・ヘッドホン) の電源を切り、ワイヤレス・ヘッドホンを本機の近くに置いてペアリングを行ってください。本機からワイヤレス・ヘッドホンへのワイヤレス オーディオ伝送を有効にするには、まず次のように 2 つのデバイスをペアリングする必要があります。

1. カセットを挿入し、再生ボタン(#4)を押して、再生状態にします。
2. ワイヤレス・ヘッドホンの電源を入れ、ペアリング・モードにします。
3. 本機のワイヤレス・ヘッドホン・リンク ボタン(#6)を長押しし、ワイヤレス・ライト (#7)が青色になっていることを確認します。

JP-9

4. 本機とワイヤレス・ヘッドホンは数秒でペアリングされ、ヘッドホンの識別子(MAC アドレス)が本機に記憶されます。接続状態になると、ワイヤレス・ライト(#7)が青色で点灯し続けます。

5. カセットの再生音はワイヤレスで本機からヘッドホンに伝送されます。

6. 本機は最大 8 つのワイヤレス・デバイスとのペアリングを記憶することが出来ます。(ワイヤレス・ヘッドホン、ワイヤレス・スピーカー等)

7. 以後、本機と記憶されたデバイスを接続するには、本機を再生状態にし、記憶されたデバイスの電源を入れ、青色の ワイヤレス・ライト(#7) が点灯になるまで本機のワイヤレス・ヘッドホン・リンク・ボタン(#6) を長押しします。再接続は数秒で自動的に行われます。デバイスのペアリング モードはスキップされます。

接続の解除と再接続

1. 再生時と再生停止後 3 分間はワイヤレス接続が継続します。3 分以内であれば、巻戻し、早送り、カセットの入れ替えや交換が可能です。 3 分以内にユーザーのアクションなしで再生が終了すると、接続が終了し、青色の ワイヤレス・ライト(#7)が消灯します。
2. 接続中にワイヤレス・ヘッドホンの電源を切ると、次の 3 分間、青色の ワイヤレス・ライト (#7) が 1 秒ごとに点滅します。ワイヤレス接続は以下の状態となります。
 - ユーザーのアクションが 3 分以内になかった場合、接続は解除されます。
 - 3 分以内にヘッドフォン (または記憶された別のデバイス) の電源を入れ直すと、接続は自動的に復元されます (ペアリングは必要ありません)。
 - 3 分を超えてからワイヤレス接続を復元するには、上記の手順 7 に従ってください。

JP-10

■ 注意: ワイヤレス・ヘッドホンの機種によっては、ワイヤレス・ヘッドホン・リンクを一度オフにし、改めてボタン(#6)を長押しして再接続する必要があります。

3. ワイヤレス接続を解除するには、ワイヤレス・ヘッドホン・リンク・ボタン(#6)を長押しします。青色のワイヤレス・リンクが 3 回点滅し、消灯します。

4. **ワイヤレス接続の可能範囲:** 約 3〜5 メートル

円滑に接続するために本機とデバイスの間が明るい状態にあるようにしてください。

5. ワイヤレス接続の精度は、受信するデバイスの品質にも依存します。一部の低電力デバイスは、本機と十分に接続出来ない場合もあります。

6. 8 つのデバイスが記憶されている場合、新しいデバイスをペアリングすると、最初に記憶されたデバイスが消去され、新しいデバイスに置き換えられます。

カセットテープ使用のコツ

1. 録音から高音質の再生音を得るために、高品質のカセットテープの使用をお勧めします。
2. 120分テープは薄くて長く、他のテープに比べて耐久性が劣るため、誤動作や巻き込みの可能性が高くなります。その結果、本機の損傷に至ることもありますので、使用はお勧めしません。
3. 良好な再生を得るために、10〜 20時間の使用ごとにテープ・ヘッドをクリーニングする必要があります。また、カセットを過度に高温または低温な環境から遠ざけることをお勧めします。

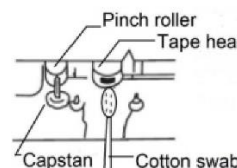
JP-11

4. テープにたるみがある場合、本機にカセットを挿入する前に、たるみを取り除いてください。付属の鉛筆を右図のようにハブに挿し込み、回転させることで解消します。



5. カセットテープの先頭にはリーダー・テープが付いています。この部分は無録音です。約5秒程度走行させてリーダー部分が終了すると音が再生されます。

6. テープ・ヘッドの汚れは再生音の歪みや速度の低下等の原因となります。カセット扉を開け、再生ボタン (#4)を押し、アルコールや別売りの専用液を付けた綿棒等を使用して、ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンの清掃をおこなってください。



JP-12

仕様

パフォーマンス

タイプ I 〜IV の全てのタイプのカセットに対応

再生

2トラック・ステレオ再生

周波数特性: 30Hz - 12500Hz (タイプ1カセット)

信号対雑音比: 50dB

歪み率: 0.3% typ

ワウ・フラッター: 0.2% typ

ヘッドホン出力: 2x 2mW into 32 ohms

録音

3.5mm RCAジャック経由でのステレオ録音

入力レベル: 50mVrms ~ 200mVrms typ

周波数特性: 30Hz - 10000Hz (タイプ1カセット)

信号対雑音比: 45dB

歪み率: 1% typ

電源:

リチウムイオン充電電池内蔵:

■公称電圧 3.7V

■公称容量2000mAh

■電池消費寿命: 約10〜12時間

最大外形寸法: 140.8x88.8x33.5mm

重量: 約404g

JP-13

アフターサポート

■ネジを外したり、本機を開けたりしないでください。機内にはユーザーが修理できる部品はありません。全ての修理はメーカー専門のサービス担当者に依頼してください。

■お問い合わせは下記メールアドレスにお送りください。

（英語でのお問い合わせとなります）

contact@wearerewind.fr

WE ARE REWIND
26 Rue Montcalm
75018 Paris
FRANCE

FCC WARNING

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
(2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Radiation exposure warning: This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20cm between the radiator and your body.